

## みどりへの情熱

福岡市役所に在籍三十七年、協会理事長として六年、花・緑一筋の大谷理事長に聞いた。フラワーシティ福岡のはじまりとこれから。

(聞き手/みどり課長 田代 和則)



# FLOWER CITY FUKUOKA

当たり前を変えていく

——福岡市内の街中に花が増えましたが、その昔はどうでしたか。

(大谷理事長/以下大谷) 今から三十年前、病院の前にきれいな花壇があった、でもその前の道路の街路樹は枯れちゃって。病院に「植樹帯も花を植えてはどうか」と提案したけれど、「市の施設に民間が手を付けるなんて」と言われて。「市が管理するところだから手をつけちゃ駄目」みたいな不文律のような感覚がまだまだあった。市民が植樹帯に花壇を作るっていう発想自体がない。そのような時代だった。花による市民活動に大きな動きがあったのは、平成十七年に開催された全国都市緑化ふくおかフェア・アイランド花どんたく。

中面へ続く



アイランド花どんたく/H17年



福博花しるベチューリップロード/H23年



市民が主体に

表面から続く

——全国的にもそのような動きはありましたね。

(大谷) 最初は「交通費はでるの？」という費用の話から始まる状況だった。緑化フェアでの市民ボランティアが発展して、緑のコーディネーター制度が立ち上がった。第一期生の角銅さんを始めとしてメンバーのみなさんには、活動のポテンシャルとか、今までにない新しい力を感じた。強烈だったのは、工事に入る直前に「フェア会場に園芸福祉の庭を作ってほしい。ぜひ作るべき」と言われて、担当に掛け合って、計画を変更したこと。期間中はお世話をし、出来上がったあとも活動をしていく約束で、それが今でも続いている。

——街中に花が増えたと感じたのはいつ頃ですか。

(大谷) 「福博花しるべ」だね。九州新幹線の開業に合わせて天神と博多駅の両

## 人々と

## 花が咲く街を

## つくる。

極がしっかりと活性化するように、しっかりと結び回遊性を高めたい、それを花で。道行く人が花を眺めながら、花の道しるべだから「花しるべ」っていう名前をつけて。学校や市民団体などいろんな人が関わって、チューリップの球根を植える活動が今も繋がっている。



——そのほか印象的なことはありますか。

(大谷) 公園造ったぞと思ったら、一番目立つところに区役所が作った「ボール投げ禁止」看板が。事情あるからやっているのは分かるけど、美しく人々を癒すために木を植えているのですね。そんな経験から「コミュニティパーク事業」というのを立ち上げた。言ってみれば、地域が主体。市は主体じゃない事業。「ルールは地域で作っていいですよ」と。例えばそれまでは焼き芋大会しようとか言ったらいちいち申請をして、指導を受けて許可を取る。なかなか進まないよね。それを地域に一括許可して地域の方がルールを作って、自由度が高い公園に変える。

——これからの福岡の花・緑について思いを教えてください。

(大谷) 花や緑は、市民も受け入れやすい。花を増やすことが最終目的じゃなくて、花を使って共創のまちづくり

をすすめる。例えば公園のワークショップで意気投合し、その後も公園、まちを舞台として繋がっていく。緑のコーディネーターも、みんな意見交換会とか、グループで付き合いたいしょうとかネットワークができてくると顔が見えてきて、新しいことが生まれ発展していく。活動が広がる、花が広がる、緑が広がるためには、共感が必要だと思う、その共感が街を好きな人を増やす。

福岡の街を好きな人を増やしたい

もっともっと福岡の街を好きな人を増やしたい。私は、花や緑は、街が好きになる大きなきっかけになると思っています。それこそが私が思う一人一花運動。市民が主体となった花、緑の活動には期待している。



大谷理事長

知りたい! 聞きたい!

南区花畑

報告

## 「HOUSE」ガーデンの講演会開催

3月4日(月)

「長く愛され続ける北海道ガーデン上野ファーム」

講演/上野ファーム 上野砂由紀さん

「英国式ガーデンビジネス」

講演/タビネコランドスケープ 永村裕子さん

昨年オープンしたライフスタイルショップ「HOUSE」でガーデンについての講演会が開催されました。ゆったりとした空間の中、上野ファーム(北海道)の上野砂由紀さんとタビネコランドスケープ主宰永村裕子さんが登壇され、宿根草などを用いたナチュラルスティック・ガーデンの遍歴など貴重なお話を伺うことができました。

写真左から、永村さん、ト部さん(司会進行)、上野さん





# HANA'IKU

令和5年度福岡市農畜産物消費拡大推進協議会

## 花育体験教室

2023年9月～2024年2月の期間中、下記の小学校でフラワーアレンジ体験教室のお手伝いをしました。

真剣にお花に向き合う子どもたちの姿が印象的でした。この体験が良い記憶のひとつになると私たちも嬉しいです。



報告

緑のコーディネーター  
＜花むすび＞  
毛利満壽美さん  
草場洋子さん  
大津真澄さん

楽しく体験できました！

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 9/28 平尾小学校(4～6年生クラブ活動) | 11/15 名島小学校(家庭科クラブ) |
| 10/19 片江小学校(2年生)       | 11/21 吉塚小学校(4年生)    |
| 11/9 大楠小学校(4年生と特別支援学級) | 2/15 壱岐東小学校(5・6年生)  |

春の装いにどうぞ！

報告  
1

## 春のコサージュ講座

緑のコーディネーター 渡辺しおみさん

春ですね。コサージュが似合う季節です。卒業、入学のセレモニーシーンに使用される方。春のお出かけに…。バッグや帽子のワンポイントにと…。使用目的も様々ですので、たくさんのお花の中からご自身の好きなお色で制作して頂きました！

最初こそ、真剣な眼差しでお花を選ばれていましたが、パールやリボンなどを加える終盤につれ、楽しい～！！と歓声が上がりました！

素敵なコサージュと共に、春をお楽しみ下さいね。



2月17日(土)  
有田公民館  
『コサージュ』講座  
13時30分～  
参加費/1,000円 7名

報告  
2

## 室見カフェ in 公民館 ひなまつり

春の恒例イベント！

『室見カフェ in 公民館ひなまつり』の中で2つのワークショップを行いました！

午前中は多肉植物の寄せ植えを、午後はコサージュ作りです。イベントでは他にも各サークルさんの作品展示や、食のブース、お野菜の販売に見応えのあるお雛様の数々等…。お花のワークショップが地域の皆さまの交流のお役に立てたことが嬉しく、たくさん笑顔に囲まれた1日になりました！



3月2日(土)  
『多肉植物の寄せ植え』 10時30分～11時30分 参加費/1,000円 16名  
『コサージュ作り』 12時30分～13時30分 参加費/1,000円 14名

気温乱高下！異常気象続く今冬

## 春が来た!?

### 梅の花 × 菜の花 & 巨大紙花



おもてなし花壇スポンサー  
後藤謙治さん

「春告げる梅花麗しあゝうれし」

気温の乱高下が激しく異常気象が続いた2月。中旬はまるで3月下旬から5月並みの気温で季節はずれの暖かさが続きました。

福岡市中央区唐人町の菩提寺・成道寺境内の梅の花は、「春が来た！」とばかりに満開になりました。

朝倉市杷木久喜宮の「道の駅原鶴ファームステーションバサロ」近くの約60万本

の菜の花畑が見頃を迎え春到来を感じました。

大分県玖珠町帆足のJR久大線豊後森駅構内に、生花の少ない冬場でも花を楽しんでもらいたいと、巨大なペーパーフラワーのオブジェが設置され、駅利用者の目を楽しませていました。



菩提寺の成道寺の境内に咲き誇る梅の花



「黄金のじゅうたん」菜の花が見頃



JR豊後森駅利用者の心とます巨大紙花のオブジェ

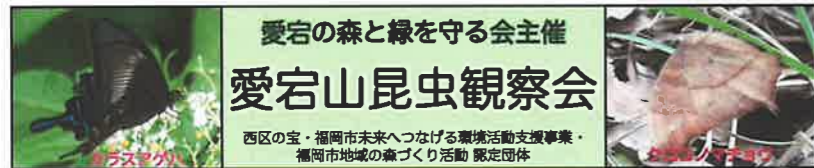


# 緑のスケジュール

緑のスケジュールをみなさんの緑の活動にお役立てください。  
掲載したい催しがある方は、みどり課までご連絡ください。

midorimachi.jp

## 愛宕の森と緑を守る会からのお知らせ



### 春の愛宕山でアゲハチョウを観察しよう

春の訪れも間近です。サクラの開花も例年より早そうので、4月下旬は春のアゲハチョウ観察ベストシーズンです。運が良ければ、トペラの花にきたミカドアゲハを近くで観察したり、アオスジアゲハの幼虫や卵も見つかるかもしれません。愛宕山の昆虫たちも活発に活動しています。小田切顕一昆虫博士とともに愛宕山を歩いてみませんか。テーマはチョウとその食草・食樹・吸蜜植物の観察です。

開催日時 2024年4月28日(日) 9:00-12:00  
雨天の場合は4月29日(祝日)に順延

講師 小田切 顕一氏 (九州大学大学院学術研究員)

集合・解散場所 甘味処 岩井屋前

鷲尾城址跡での野外授業の後、チョウが集まる場所に移り、何種類か出あえるか記録してみよう。アゲハチョウの卵や幼虫を発見したら、希望者は持ち帰り成虫まで育てた後に愛宕山に戻してもらいます。



ノアザミには吸蜜植物として多くのチョウが集まってくる

対象：小学4年生以上

服装：長袖・長ズボン・長めの靴下・スニーカー

持ち物：筆記道具・水筒・捕虫網・虫かご

定員：15名 要事前申込み(4月23日締切)

先着順・定員になり次第締め切ります

申し込み先：oguma@seinan-gakuin.jp (小熊)

児童名、学校と学年、保護者氏名と連絡先(住所、メール、電話)を記載

問い合わせ先：080-8805-5316 (小熊)

守る会 HP：https://atagoforest.wix.com/home X：@atamori2022

#### 減少する里山のチョウ類

環境省は2019年11月、里山のチョウ類の約4割の種で減少が見られ、危機的な状態にあると発表しました。愛宕山ではミカドアゲハなど39種のチョウが確認されています。本会はチョウ類の食草、食樹、蜜源植物の保全活動を行っています。



ウマノスズクサはジャコウアゲハ幼虫の食草。今年は幼虫か、その卵に出会えるかも

押し花教室  
受講者作品展 2024  
4月9日 - 21日 福岡市植物園 緑の情報館1F

3/25 MON

#### 緑コ紹介

紙飛行機を飛ばしてみよう

🕒 10:00~ 11:00~ 13:00~

🏠 14:00~ 15:00~ 各回50分

👤 住吉公民館

👤 紙飛行機名人 山下豊光

定員/10名(各回)

#### 一人一花ハッスル

ハーブを使ったプチ講座

🕒 10:00~12:00

🏠 笹丘公民館

👤 グリーンリンク

👤 200円 定員/12名

3/27 WED

#### 緑コ紹介

カラーサンド講座

🕒 10:00~

🏠 城南フレンドホーム

👤 渡辺しおみさん

👤 700円 定員/10名

4/9 TUE

#### 緑コ紹介

多肉植物寄せ植え講座

🕒 13:30~15:00

🏠 有田公民館

👤 渡辺しおみさん

👤 1,000円 定員/10名

4/17 WED

#### 緑コ紹介

絵手紙でお花を描こうR60倶楽部

🕒 14:00~16:00

🏠 早良市民センター

👤 フラワーMIKI (三木シゲ子さん)

👤 1,500円 定員/20名

イベントは、延期や中止になる場合があります。詳しくは、各機関にお問合せください。

## 上半期認定の団体が決定!!

地域の森・花づくり活動支援事業

この事業は、市民の方々と結成された団体が自主的に取り組まれる緑化活動のための費用を助成するもので、年2回(7月と1月)活動団体の募集をしています。  
今年度1月の募集では、6団体が新しく認定されました。

6団体が仲間入りしました!

これから、よろしくお願いいたします。

東区

バルテール

城浜団地  
12区町内

し花のしま

志賀島 736-60  
(志賀公民館)

中央区

南公園・  
森の倶楽部

南公園

南区

赤坂公園 F

赤坂3丁目  
(赤坂公園)

花畑3丁目1区  
町内会  
スマイルガーデン

花畑3丁目 19-5  
(花畑南公園)

地行1丁目1区  
町内会

地行1丁目1区  
1-1,3-2

## 私たちの「ステップガーデン」が できるまで

新和フワークラブ  
代表 岡崎和枝さん



傾斜地の花壇で、整備するまでに時間がかかりました。



ブロックで階段を作り、竹で区切るように柵を作り、花を少しずつ植えていきました。培養土を大量に入れたため、雑草もたくましく育ち、手入れが追いつきません(笑)

花壇作業をしていると通りがかりの方から感謝の声をかけていただき、たまにお茶やお菓子の差し入れもあり、交流も楽しませてもらっています。



finish



今月の

森 mori hana 花

舞鶴公園フラワーボランティア



日の光を浴びて  
花卉輝く

ランタンキュラスラックスが  
贅沢に花壇を彩ります。

薬院公園花の会



Thank you

● 昨年9月の研修会で  
● ポット上げたサク  
● ラソウです。  
● 今、きれいに咲いて  
● います。  
● ありがとうございます  
● ました。



アンケートにご協力お願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにて  
ご応募ください。

①住所・氏名・年齢・電話  
番号②良かったページ③  
本誌に期待すること、ご意  
見など



webアンケート

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を  
郵送またはメールにて提出してください。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課

✉ ks@midorimachi.jp

☎ 092-260-8816

☎ 090-8463-9982

☎ 092-401-1384



ホームページ

グリーンノートは編集から構成デザインまで、福岡市緑のまち  
づくり協会職員が制作しています。